



天浜線・姫街道ウォーク(第4ステージ)

2014.02.16 19km

参加者の皆様へ

- ・主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- ・スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- ・原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- ・一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- ・体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。

コース紹介

いよいよ天竜川を渡ります。岩水寺駅から新東名の高架下を通り住宅街を経て西鹿島駅に向かいます。西鹿島駅は遠州鉄道の終着駅でもあります。県道45号線を天竜川に向かい歩きます。天竜川に架かる鹿島橋からは、急流に浸食された岩が「暴れ天竜」と言われた面影を残します。橋を渡って右斜めの道に入るとトンネルがあります。トンネルをくぐると二俣本町です。県道40号に出て歩くと天竜二俣駅に着きます。天竜二俣駅は、天浜線の本社があり又、国の登録有形文化財に登録された施設があり鉄道ファンが写真を撮る光景が見られます。再び県道40号線を歩き、上野部駅前からしばらく行くと磐田市豊岡支所の建物が見えてきます。豊岡梅園の案内版のところを左に曲がり道なりに行くと、梅園の駐車場があります。その奥が梅園入り口です。ここで昼食となります。午後は普通コースとゆったりコースに分かれます。ゆったりコースはここからバス移動です。時間があるので梅園散策もよいでしょう。普通コースは、梅園を出発して豊岡支所の脇を通り県道40号線に出ます。40号線を2Km 位歩くと豊岡東公民館の案内版が見えてきます。ここを左に曲がり200m位歩くと豊岡東公民館です。ここでトイレ休憩です。(靴を脱いで利用して下さい)豊岡東公民館からは、敷地川に沿って上流に歩き、下田橋を渡って緩やかな坂を登って行くとトンネルがあります。ここが峠です。トンネル出口から坂道を下ってゆくと新東名の高架橋が見えてきます。高架下を通り大久保公民館を左に曲がります。緩やかなアップダウンの道を道なりに行くと、再び新東名の高架橋が現れこの高架橋下がゴールです。ここでゆったりコースの人達と合流して、小国神社に向かいます。小国神社でトイレ休憩や参拝をして帰路に着きます。

緊急時連絡

佐藤 和代 090-6091-4335

宇佐美武幸 090-7025-9607

豊岡梅園の由来

静岡県の梅の見所は東は熱海梅園、西は豊岡梅園と言われている。豊岡梅園は梅酒用の梅を生産する目的で昭和42年に植樹された。丸山さんという方の個人梅園で、およそ4万坪に及ぶ園内には南高、古城改良内田といった白梅を中心に約5千本の梅が植えられている。あくまでも収穫を目的とした梅園だが、満開時に咲き競う花の見事さからいつしか訪れる人も増え、時期を限って広く一般に公開されている。真っ白な梅のじゅうたんの中に紅梅の鮮やかなピンクが混じる梅園は、観光面での配慮から植えられているそうだ。散策道が整備されていて時間を掛けて楽しむことができる。入園料にはお土産の梅干しがついている。

次回申込 (車内で)

- 塩山ざぜん草ウォーク
- ☆期日 3月16日(日)
 - ☆集合 富士宮駅南口 7:00
 - ☆参加費 3500円
 - ☆〆切 3月11日(火)



コース	富士宮駅南口 == 新富士IC == 遠州森町PA(WC) == 浜松・浜北IC
往路(バス)	7:00 8:10~8:30 == 岩水寺駅 8:50
ウォーク	岩水寺駅・・・西鹿島駅(WC)・・・天竜二俣駅(WC)・・・豊岡梅園(昼食・WC・散策) 9:00 9:40~10:00 10:50~11:00 12:10~13:10 ・・・豊岡東公民館(WC)・・・新東名一宮高架下(ゴール) 14:10~14:25 15:40
復路(バス)	新東名一宮高架下 == 小国神社 == 森・掛川IC == 新富士IC == 富士宮駅南口 15:45 16:00~16:30 17:40

天竜二俣駅
天竜浜名湖鉄道の本社がある駅。1998年(平成10年)12月 機関車転車台、機関車扇形車庫、運転区事務室、運転区浴場、運転区休憩所が登録有形文化財として登録される。2011年(平成23年)1月 本屋、上り上屋(うわや)およびプラットホーム、下り上屋およびプラットホーム、敷地内の揚水機室、高架貯水槽が登録有形文化財として登録される。駅舎内にはラーメン店『ホームラン軒』が営業している。地名の二俣は道の二股ではなく、天竜川と阿多古川の二股のデルタ地帯を意味している。